

介護保険法(1・2・4条)

1問出る可能性が高い

難問の1点よりはるかに楽なので試験直前に確認

解き方のコツ

規定されているものはどれか？

＝法律に書かれていることはどれか？という意味

＝〇〇のこと(イメージで答えてはいけません)

1条(介護保険制度の目的):介護保険制度の目的は〇〇である

2条(保険給付の理念):〇〇は保険給付の理念である

4条(国民の努力および義務):〇〇は国民の努力および義務である

1

1

1条(介護保険制度の目的は〇〇である)

- ・尊厳を保持
- ・自立した日常生活
- ・国民の共同連帯(被保険者×)
- ・国民の保健医療の向上および福祉の増進を図る(被保険者×)

2条(〇〇は保険給付の理念)

- ・要介護状態・要支援状態の軽減・悪化の防止
- ・医療との連携への十分な配慮
- ・被保険者の選択に基づく適切なサービスの総合的・効率的な提供(事業者×)
- ・多様な事業者・施設によるサービスの提供(同一の×)
- ・居宅における自立した日常生活(施設×)

4条(〇〇は国民の努力および義務である)

- ・自ら要介護状態となることを予防するため、常に健康の保持増進に努める(努力)
- ・その有する能力の維持向上に努める(努力)
- ・共同連帯の理念に基づき、介護保険事業に要する費用を公平に負担する(義務)

2

2

2020年改正

5条(国および地方公共団体の責務)に追加されたもの 全て努力(義務×)

- ・共生する地域社会の実現
- ・認知症に関する知識の普及および啓発
- ・認知症の予防、診断および治療、認知症である者の心身の特性に応じたリハビリテーション、介護方法に関する調査研究の推進
- ・人材の確保および資質の向上を図るために必要な措置を講ずる
- ・認知症である者およびその家族の意向の尊重に配慮

3

3

問題 1 介護保険法第1条(目的)に規定されている文言として正しいものはどれか。

2つ選べ。

- 1 高齢者の権利利益の擁護に資する
- 2 高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図る
- 3 国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る
- 4 有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができる
- 5 高齢者の居住の安定の確保を図る

4

4

問題 2 介護保険法第1条(目的)又は第2条(介護保険)に規定されている文言はどれか。3つ選べ。

- 1 自立した日常生活
- 2 国民の共同連帯
- 3 利用者主体
- 4 医療との連携
- 5 介護の社会化

5

5

問題 6 介護保険法第2条に示されている保険給付の基本的考え方として正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 要介護状態等の維持又は悪化の予防に資するよう行われる。
- 2 被保険者の選択に基づく。
- 3 総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われなければならない。
- 4 快適な日常生活を営むことができるように配慮されなければならない。
- 5 被保険者の要介護状態等に関し、必要な保険給付を行う。

6

6

問題 1 「国民の努力及び義務」として介護保険法第4条に規定されているものはどれか。**3つ**選べ。

- 1 常に健康の保持増進に努める。
- 2 自立した日常生活の実現に努める。
- 3 その有する能力の維持向上に努める。
- 4 地域における互助に資する自発的活動への参加に努める。
- 5 介護保険事業に要する費用を公平に負担する。